

6年1組 算数科学習指導案

日 時：令和3年10月27日（水）
場 所：6年教室
授業者：

1 単元名 分数のわり算

2 単元の目標

分数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、分数の除法の計算の仕方を数直線図や既習の計算をもとに考え、計算することができる。また、整数、小数、分数の混じった乗法、除法の計算を分数の乗法に統合して考えることができる。

3 研究との関わり

研究テーマ 見方・考え方を働かせ、数学的に考える児童を育てる指導の在り方

【重点1】数学的な見方・考え方と数学的に考える児童を育てる数学的活動の明確化

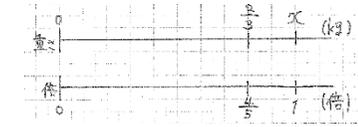
個人追究では、児童が自立的に問題を解決していけるように、以前より活用してきた数直線図をかき、数量の関係を明確にしながらか立式の根拠を考えることで、数学的な見方・考え方を育てる。個人追究後には、3人グループ交流を位置付け、協働的に問題解決を図ることができる機会を設ける。3人グループ交流の流れは、

【①自分の考えを伝える。 ②3人の考えの共通点や相違点を話し合う。 ③3人の考えをまとめる。】としている。①では、自分の考えを書いたノートをタブレットで写真に撮り、図や式を指し示しながら筋道立てて自分の考えを伝える。②では、3人の考えの共通点から課題に対するまとめを考えたり、相違点からよりよい考えを見つけたりする。③では、3人グループ交流で分かったことをロイロノートでまとめ、発表につなげる。3人の話し合い活動を通して問題解決の過程や結果を考えることで、数学的に考える児童を育てる。

4. 本時のねらい

割合が分数で表されている場合の基準量を求める活動を通して、基準量が分数の除法を用いて求められることに気づき、数直線図を使って基準量の求め方を説明することができる。

5. 本時の展開（13 / 14）

	学習活動と予想される子どもの姿	指導・援助・評価
つ か む	<p>1. 問題をつかむ</p> <p>あいきさんはいちごを$\frac{2}{3}$kg取りました。これはだいきさんがとったいちごの$\frac{4}{5}$倍です。だいきさんがとったいちごは何kgですか。</p> <p>・比べる量は$\frac{2}{3}$kgで、割合は$\frac{4}{5}$倍だ。</p> <p>・もとにする量が分からない。(→xkgとする。)</p> <p>2. 課題をつかむ</p> <p>割合が分数のときのもとにする量の求め方を考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> もとにする量に赤線、くらべる量に青線、割合に黒線を引き、分かっていること、求めたいことを明確にする。 前時との相違点を確認し、課題をつかむ。 数量の関係を確かめるために、数直線図をかき、かけない児童は教科書を参考にして数直線図をかき、 3人グループになって、自分の考えを伝え合い、よりよい考えに深めたり、課題に対するまとめをつくりたりする。
深 め る	<p>3. 個人追究</p> <p>・ $x \times \frac{4}{5} = \frac{2}{3}$</p> <p>$x = \frac{2}{3} \div \frac{4}{5}$</p> <p>$x = \frac{5}{6}$ 答え $\frac{5}{6}$ kg</p>  <p>4. 3人グループ交流</p> <p>・もとにする量は、わり算で求められる。</p> <p>・「もとにする量＝くらべる量÷割合」だ。</p> <p>・割合が分数でも、整数や小数と同じように求められる。</p> <p>・比べる量や割合が違う数に変わっても、同じように求められるかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【評価規準】 <思考・判断・表現> 基準量を求めるときに、分数の除法が用いられることを、数直線図を使って説明することができる。
ま と め	<p>5. まとめ</p> <p>割合が分数で表されていても、小数や整数と同じように、もとにする量を求めるには、わり算が使える。</p> <p>6. 評価問題（P121 鉛筆4・5）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要な児童は、数直線図から立式する。